

第1・2年生 算数科学習指導案

1 単元名

第1学年 かたちづくり (3/5)

第2学年 かけ算〈2〉(2/13)

2 単元の目標

形づくりにおいて、色板や棒などを使って様々な形を作る活動を通して、図形を構成する力と観察する力を身につけるとともに、形に親しみながら学ぶ態度を養う。	アレイ図を使った活動を通して、6～9の段や1の段の九九を構成したり、かけ算を使って問題を解決したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。
--	---

2 本時の目標

棒を使った形づくりを通して、並べ方を工夫して、いろいろな形を構成することができる。	アレイ図を使った活動を通して、6の段の九九を構成し、適用問題を解くことができる。
---	--

3 主な学習活動及び指導上の留意点 (◎主体的な学びに向かう手立て ★評価)

指導上の留意点	主な学習活動・学習内容 (第1学年)	位置	主な学習活動・学習内容 (第2学年)	指導上の留意点
<p>・絵を見せることによって、棒でできた形であることに気付かせ、形を作ることへの意欲を高める。</p> <p>・棒を見えやすくするために、ホワイトボードの上で操作させる。</p> <p>◎何度も作り直す時間を確保し、作り方に慣れさせる。</p> <p>◎並べ方を説明させることを通して、角の大きさや辺の長さや位置関係に気付かせる。</p> <p>◎形を自分で考えることによって、形作りに興味を持たせる。</p> <p>振り返りの視点を確認し、めあてが達成できたかを把握できるようにする。</p>	<p>1 教科書の絵を見て、棒でできた形を考える。</p> <p>2 めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ならべかたをくふうして、いろいろなかたちをつくろう。 </div> <p>3 数え棒で、あ～かの形を作る。★①② ・線構成</p> <p>4 作った形を発表する。 ・角の大きさ ・辺の長さ・数 ・辺の位置関係 ・三角、四角</p> <p>5 数え棒で、好きな形を作る。★①② ・線構成</p> <p>6 作った形を発表する。</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p>	位置	<p>1 デジタマアプリで前時までの復習をする。 ・かけ算、2,3,4,5の段</p> <p>2 めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 6のだんの九九をつくろう。 </div> <p>3 アレイ図を使って、6の段の九九を作る。 ・6の段の構成</p> <p>4 6の段の九九の作り方を、説明する。(グループ、全体) ・九九のきまり</p> <p>5 6の段の九九の唱え方の確認をする。 ・6の段の九九</p> <p>6 練習問題をやる。 ・適用問題 28 ページ 3</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p>	<p>・デジタマで、前時までの既習内容の確認をさせる。</p> <p>・アレイ図を使って、一つ分が6個になることを確認する。</p> <p>◎グループでの伝え合いを仕組むことによって、自力解決が難しい部分の確認ができるようにする。</p> <p>◎アレイ図を使うことを通して、視覚的にかける数が1増えると、答えが6増えることに気付かせ、九九を自分で作ることにつなげる。★①②</p> <p>◎「6こずつの4箱分」になることを確認し、自力解決できるようにする。★①</p> <p>・振り返りの視点を確認し、めあてが達成できたかを把握できるようにする。</p>

4 評価 (★)

<p>① 棒を使っていろいろな形を作ることに関心・興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。(態)</p> <p>② 棒を並べて、いろいろな形を作ることができる。(技)</p>	<p>① アレイ図を使って6の段の九九を構成し、適用問題を解くことができる。(技)</p> <p>② アレイ図をもとに、かける数が1増えると積はかけられる数だけ増えることを使って九九を構成することができる。(思)</p>
---	--